

現場ではたらく ビル管●INTERVIEW



第47回

ユニクス鴻巣(埼玉県鴻巣市)

石原 恵美 さん(新日本ビルサービス 株式会社)

今月は、埼玉県の複合施設ではたらく石原さんを訪ねました。石原さんは、もともとは有線放送のアナウンサーだったとのこと。ショッピングセンターでの華やかなアナウンスで売り上げに貢献するつもりだったが、一つ一つの仕事を一生懸命にこなしていたら、いつの間にか支配人へとステップアップしていたそうです。その様子取材しました。

この業界に入ったきっかけを教えてください

結婚してすぐに長野県に移り住んだのですが、そこで地元の有線放送のアナウンサーをしていました。地元のイベントを取材して原稿をつくって読むという毎日で、非常に充実していました。4～5年続けたでしょうか。

その後、離婚して、母と埼玉県へ引っ越したのですが、ある日オープンしたばかりのユニクス上里店にショッピングに来たのです。そのときに耳にした館内放送がとても上手だったのですね。地元・埼玉県でどんな仕事ができるだろうと模索しているときだったので、「ショッピングセンターの館内放送の仕事なら経歴が生かせるかも」と思い、すぐに電話をしました。

無事に採用されたのですが、最初はパート勤務。アナウンスと事務仕事を任されました。

アナウンスの仕事は大好きでしたので、最初か

ら、いろんな企画を出しましたね。各テナントの店長にインタビューして、目玉商品やお買い得品などを館内放送で流す企画は、来場者にもテナントにも大好評でした。自分のアイデアで売り上げがUPするのは嬉しかったです。

パートの身分でしたが、どうしたら来場者に楽しんで買い物をしていただけるか、長く滞在していただけるかを考える日々は楽しかったですね。支配人に背中を押してもらいながら、自分の出した企画が通り、夢中でイベントの準備をしていると、残業が続いてしまうことも多くなり、自然と契約社員への道が開けました。ここまでわずか1年。副支配人に昇格しました。

ビル管理者になろうと思っていたわけではなかったのですね

そうなのです。イベントの司会や事務仕事を中心に、と考えていたのですが、副支配人になって



ユニクス鴻巣 外観